

経歴・業績一覧

2026 年 7 月 31 日現在

海老原 諭 (えびはら さとし)

1978 年 8 月 31 日生

e-mail: s.ebihara@wako.ac.jp

1 経歴

1.1 学歴

- 1994 年 4 月 早稲田大学系属早稲田実業学校高等部普通科入学
- 1997 年 3 月 早稲田大学系属早稲田実業学校高等部普通科卒業
- 1997 年 4 月 早稲田大学商学部入学
- 2001 年 3 月 早稲田大学商学部卒業 (学士 (商学))
- 2001 年 4 月 早稲田大学大学院商学研究科修士課程入学
- 2003 年 4 月 早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了 (修士 (商学))
- 2003 年 4 月 早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程入学
- 2008 年 3 月 早稲田大学商学学術院商学研究科博士後期課程単位取得退学

1.2 職歴

- 2004 年 4 月 早稲田大学産業経営研究所助手 (2007 年 3 月まで)
- 2005 年 9 月 文京学院大学経営学部非常勤講師 (担当科目: 簿記原理 II、2006 年 3 月まで)
- 2007 年 4 月 早稲田大学商学学術院総合研究所産業経営研究所研究協力員 (2008 年 3 月まで)
- 2008 年 4 月 文京学院大学経営学部助教 (2014 年 3 月まで)
- 2008 年 4 月 早稲田大学商学学術院総合研究所産業経営研究所特別研究員 (2012 年 3 月まで)
- 2012 年 4 月 早稲田大学商学学術院総合研究所産業経営研究所招聘研究員 (現在に至る)
- 2013 年 4 月 立教大学経営学部兼任講師 (担当: 会計学入門、2013 年 9 月まで)
- 2014 年 4 月 国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科講師 (2018 年 3 月まで)
- 2018 年 4 月 和光大学経済経営学部経営学科准教授 (2023 年 3 月まで)
- 2022 年 9 月 共立女子大学ビジネス学部非常勤講師 (担当: 企業評価論、2023 年 3 月まで)
- 2023 年 4 月 和光大学経済経営学部経営学科教授 (現在に至る)
- 2023 年 4 月 共立女子大学ビジネス学部非常勤講師 (担当: 企業評価論、2024 年 3 月まで)
- 2024 年 4 月 共立女子大学ビジネス学部非常勤講師 (担当: 企業評価論、2025 年 3 月まで)
- 2025 年 4 月 共立女子大学ビジネス学部非常勤講師 (担当: 企業評価論、2026 年 3 月まで)
- 2025 年 10 月 和光大学経済経営学部経営学科長 (現在に至る)
- 2026 年 4 月 共立女子大学ビジネス学部非常勤講師 (担当: 財務会計、現在に至る)

2 研究業績

2.1 単行本

1. 『連結財務諸表ハンドブック (3)』 税務経理協会、2004 年 11 月 2 日、分担翻訳。
2. 『特許権価値評価モデル (PatVM)』 東洋経済新報社、2006 年 5 月 1 日、分担執筆。
3. 『簿記原理入門』 創成社、2010 年 5 月 20 日、分担執筆。
4. 『英和和英 IFRS 会計用語辞典』 中央経済社、2010 年 6 月 1 日、分担執筆。
5. 『IFRS 37 基準のポイント解説』 中央経済社、2010 年 7 月 1 日、分担執筆。
6. 『IFRS 40 基準のポイント解説』 中央経済社、2011 年 10 月 10 日、分担執筆。
7. 『連結会計入門 (第 6 版)』 中央経済社、2012 年 8 月 28 日、分担執筆。
8. 『財務会計における公正価値測定』 中央経済社、2014 年 8 月 6 日、分担執筆。
9. 『新・入門商業簿記』 創成社、2019 年 4 月 12 日、分担執筆。
10. 『初級簿記教本』 創成社、2019 年 4 月 25 日、単著。
11. 『初級簿記教本問題集』 創成社、2019 年 4 月 25 日、単著。
12. 『経済経営学部 of キセキ (和光大学経済経営学部 55 周年記念・教育論文編)』 創成社、2021 年 3 月 9 日、共編・分担執筆。
13. 『初級簿記教本 (第 2 版)』 創成社、2024 年 4 月 20 日、単著。
14. 『初級簿記教本問題集 (第 2 版)』 創成社、2024 年 4 月 20 日、単著。
15. 『全経簿記能力検定試験標準問題集 上級商業簿記・財務会計』 中央経済社、2024 年 8 月 10 日、分担執筆。

2.2 論文

1. 「アメリカにおける会計ディスクロージャー制度の成立に関する一考察」 早稲田大学大学院商学研究科、2003 年 3 月 25 日、1-91 頁、修士論文。
2. 「子会社上場時における連結の範囲に関する一考察」 『商経論集』 第 86 号、2004 年 3 月 15 日、1-10 頁、単著。
3. 「無形資産のディスクロージャーに関する一考察—SFAS141 における無形資産の会計処理を中心として—」 『早稲田大学商学研究科紀要』 第 58 号、2004 年 3 月 25 日、79-90 頁、単著。
4. 「全部のれんの会計学的性格に関する一考察」 『国際会計研究学会年報』 2005 年度、2006 年 3 月 31 日、147-154 頁、単著。
5. 「会計基準の拘束力に関する一考察—日・英・米、証券規制の比較検討を中心として—」 『経営論集』 第 18 巻第 1 号、2008 年 12 月 20 日、83-97 頁、単著。
6. 「履行義務の公正価値測定—討議資料『顧客との契約における収益認識についての予備的見解』公表を受けて—」 『経営論集』 第 19 巻第 1 号、2009 年 12 月 20 日、57-69 頁、単著。
7. 「FASB による履行義務の公正価値測定見直しの意味」 『経営論集』 第 20 巻第 1 号、2010 年 12 月 20 日、61-76 頁、単著。
8. 「公正価値測定の 2 つの目的—取得原価を測定する手段としての公正価値測定と将来キャッシュフロー

- の発生可能性を表示する手段としての公正価値測定一」『経営論集』第21巻第1号、2011年12月20日、59-78頁、単著。
9. 「公正価値概念の変遷」『企業会計』第64巻第11号、2012年11月1日、1610-1616頁、単著。
 10. 「会計認識における測定可能性優先観の後退—FASB/IASB 収益認識プロジェクトにおける議論を中心として—」『経営論集』第23巻第1号、2013年12月20日、137-154頁、単著。
 11. 「医療法人会計基準が診療報酬の適正化に果たす役割」『社会保障研究』第2巻第4号、2018年3月25日、566-577頁、単著。
 12. 「医療法人会計における連結会計の必要性」『地域ケアリング』第20巻第8号、2018年6月28日、99-101頁、単著。
 13. 「医療法人グループ会計における連結範囲の確定基準」『和光経済』第51巻第2号、2019年2月28日、11-20頁、単著。
 14. 「医療法人グループ会計における資本手続—医療法人が他の医療法人に資金拠出をした場合の処理—」『和光経済』第52巻第1号、2019年12月25日、1-10頁、単著。
 15. 「医療法人に係る会計ディスクロージャー制度のねらいとその限界—会計情報における『世間からの目』の違いに着目して—」、和光大学経済経営学部『現代に問う経済のあり方、経営のあり方（和光大学経済経営学部55周年記念・研究論文編）』創成社、2021年3月9日、195-210頁、単著。
 16. 「医療法による『関係事業者との取引の状況に関する報告書』における情報開示の現状と課題—第7次改正『医療法』施行初年度の開示状況調査をもとに—」『和光経済』第54巻第2・3号、2022年3月8日、9-26頁、単著。
 17. 「経過措置型医療法人に対する留保金課税の導入に関する検討」『和光経済』第55巻第2号、2022年12月20日、1-13頁、単著。
 18. 「医療法人における対関係事業者取引の事業報告書等を通じた実態把握の限界」『和光経済』第56巻第1号、2023年8月10日、1-13頁、単著。
 19. 「インターネットを利用した医療法人の事業報告書等の閲覧に係る各都道府県の方針の違いに関する実態調査」『和光経済』第56巻第3号、2024年3月29日、1-10頁、単著。
 20. 「医療法人の一般目的財務報告と非営利法人の一般目的財務報告の関係に関する一考察—日本公認会計士協会『非営利組織における財務報告の検討』との比較を中心として—」『和光経済』第57巻第2号、2025年3月28日、1-12頁、単著。
 21. 「医療法人の決算情報の届出・公告制度と医療機関の経営情報の報告制度の衝突—非営利法人会計のコンバージェンスを前提として—」『産業経理』第85巻第2号、2025年7月25日、104-114頁、単著。
 22. 「医療法人の非営利性に関する都道府県の判断基準」『和光経済』第58巻第2号、2026年3月30日、1-16頁、単著。

2.3 研究ノート・研究資料

1. 「FASB 概念フレームワークにおける測定属性と公正価値測定との関係についての整理」『産業経営』第37号、2005年6月30日、91-102頁、研究ノート、単著。
2. 「医療法人に対する非営利性の確認に関する都道府県の意識」『和光経済』第58巻第1号、2025年12月19日、13-19頁、研究資料、単著。

2.4 学会報告予稿

1. 「公正価値測定の意義とその限界」（特別委員会中間報告）、日本会計研究学会第 69 回大会、2010 年 9 月 8 日。
2. 「公正価値測定の意義とその限界」（特別委員会最終報告）、日本会計研究学会第 70 回大会、2011 年 9 月 17 日。
3. 「民間医療サービス提供主体における経営実態把握手段としての連結財務諸表の意義」日本会計研究学会第 75 回大会、2016 年 9 月 13 日。
4. 「地域医療連携推進法人における会計報告単位のあり方」日本会計研究学会第 76 回大会、2017 年 9 月 23 日。
5. 「負債と資本の区分の意義に関する総合的研究」（スタディ・グループ中間報告）、日本会計研究学会第 85 回大会、2025 年 8 月 26 日。

2.5 その他執筆

1. 「日本会計研究学会第 67 回大会・特別委員会報告（2）『財務報告の変革に関する研究』『企業会計』第 60 巻第 12 号、2008 年 12 月 1 日、170–171 頁、学会ルポ。
2. 「日本会計研究学会第 57 回関東部会・統一論題『収益認識をめぐる諸問題』『企業会計』第 62 巻第 4 号、2010 年 4 月 1 日、140 頁、学会ルポ。
3. 『『財務報告の変革』第 1 回シンポジウム・統一論題『財務報告の変革とコックピット・モデル』『企業会計』第 62 巻第 6 号、2010 年 6 月 1 日、74–75 頁、シンポジウムルポ。
4. 『『財務報告の変革』第 3 回シンポジウム・統一論題『非財務情報の会計学的性格』『企業会計』第 62 巻第 10 号、2010 年 10 月 1 日、139 頁、シンポジウムルポ。
5. 「経営学部における学士課程教育の展開」『文京学院大学総合研究所紀要』第 11 号、2010 年 12 月 20 日、89–103 頁、共著。
6. 『『財務報告の変革』第 5 回シンポジウム・統一論題『財務報告の変革と内部報告会計』『企業会計』第 63 巻第 7 号、2011 年 7 月 1 日、159 頁、シンポジウムルポ。
7. 「日本会計研究学会第 70 回大会・統一論題報告（第 1 会場）『会計基準から財務報告基準へ』『企業会計』第 63 巻第 12 号、2011 年 12 月 1 日、121–123 頁、学会ルポ。

2.6 学会発表

1. 「全部のれんの会計学的性格に関する一考察」国際会計研究学会第 22 回全国大会、自由論題報告、2005 年 8 月 26 日、早稲田大学。
2. 「のれんとブランドの会計学上の関係に関する一考察」日本知財学会第 5 回年次研究発表会、自由論題報告、2007 年 7 月 1 日、東京大学、単独。
3. 「公正価値測定の意義とその限界」日本会計研究学会第 69 回大会、特別委員会中間報告、東洋大学、2010 年 9 月 8 日、共同。
4. 「公正価値測定の意義とその限界」日本会計研究学会第 70 回大会、特別委員会最終報告、久留米大学、

2011 年 9 月 17 日、共同。

5. 「公正価値の解釈をめぐる問題点」日本会計研究学会第 71 回大会、自由論題報告、2012 年 9 月 1 日、一橋大学、単独。
6. 「医療法人における財務透明性確保の意義—平成 27 年医療法改正を契機として—」第 15 回日本医療マネジメント学会栃木支部学術集会、ポスター発表、2015 年 10 月 24 日、単独。
7. 「民間医療サービス提供主体における経営実態把握手段としての連結財務諸表の意義」日本会計研究学会第 75 回大会、自由論題報告、2016 年 9 月 13 日、静岡コンベンションアーツセンター（グランシップ）、単独。
8. 「地域医療連携推進法人における会計報告単位のあり方」日本会計研究学会第 76 回大会、自由論題報告、2017 年 9 月 23 日、広島大学、単独。
9. 「医療法人会計に期待される役割とは何か—非営利組織モデル会計基準との違いに注目して—」日本会計研究学会第 83 回大会、自由論題報告、2024 年 8 月 27 日、早稲田大学、単独。
10. 「都道府県による医療法人の非営利性のコントロールの限界」日本公会計学会関東部会・研究部会・北海道部会、自由論題報告、2025 年 4 月 12 日、オンライン、単独。
11. 「負債と資本の区分の意義に関する総合的研究」日本会計研究学会第 84 回大会、スタディ・グループ中間報告、2025 年 8 月 26 日、福岡大学、共同。

2.7 競争的資金の獲得状況

1. 「公正価値測定の意義とその限界に関する研究」文部科学省科学研究費補助金、基盤研究（A）（課題番号 22243035）、2010 年度～2012 年度、研究分担者。
2. 「医療法人会計における連結制度導入に向けた理論的基盤の構築に関する研究」日本学術振興会科学研究費補助金、基盤研究（C）（課題番号 17K18052）、2017 年度～2019 年度、研究代表者。
3. 「都道府県による医療法人の経営実態把握を支援するサポートツールの開発」日本学術振興会科学研究費補助金、基盤研究（C）（課題番号 22K10376）、2022 年度～2025 年度、研究代表者。

2.8 学術貢献活動

1. 日本会計研究学会第 57 回関東部会準備委員、文京学院大学、2009 年。
2. 日本財務管理学会第 34 回全国大会準備委員、文京学院大学、2012 年。
3. 日本会計研究学会第 84 回大会自由論大報告司会、福岡大学、2025 年 8 月 28 日。

3 教育業績

3.1 担当講義

2005 年度

- 簿記原理 II（文京学院大学）

2008 年度

- 簿記原理 I (文京学院大学)
- 簿記原理 II (文京学院大学)
- 簿記応用 I (文京学院大学)
- 簿記応用 II (文京学院大学)
- 上級簿記 I (文京学院大学)
- 上級簿記 II (文京学院大学)
- 大学学 (文京学院大学)
- ゼミナール (文京学院大学)

2009 年度

- 簿記原理 I (文京学院大学)
- 簿記原理 II (文京学院大学)
- 簿記応用 I (文京学院大学)
- 簿記応用 II (文京学院大学)
- 上級簿記 I (文京学院大学)
- 上級簿記 II (文京学院大学)
- 外国書購読 (文京学院大学)
- 大学学 (文京学院大学)
- ゼミナール (文京学院大学)

2010 年度

- 簿記原理 I (文京学院大学)
- 簿記原理 II (文京学院大学)
- 簿記応用 I (文京学院大学)
- 簿記応用 II (文京学院大学)
- 上級簿記 I (文京学院大学)
- 上級簿記 II (文京学院大学)
- 外国書購読 (文京学院大学)
- 大学学 (文京学院大学)
- ゼミナール (文京学院大学)

2011 年度

- 簿記原理 I (文京学院大学)
- 簿記原理 II (文京学院大学)
- 上級簿記 I (文京学院大学)
- 上級簿記 II (文京学院大学)

- 大学学（文京学院大学）
- ゼミナール（文京学院大学）

2012 年度

- 簿記原理 I（文京学院大学）
- 簿記原理 II（文京学院大学）
- 上級簿記 I（文京学院大学）
- 上級簿記 II（文京学院大学）
- キャッシュ・フロー会計（文京学院大学）
- 国際会計（文京学院大学）
- 大学学（文京学院大学）
- ゼミナール（文京学院大学）

2013 年度

- 簿記原理 I（文京学院大学）
- 簿記原理 II（文京学院大学）
- 上級簿記 I（文京学院大学）
- 上級簿記 II（文京学院大学）
- キャッシュ・フロー会計（文京学院大学）
- 国際会計（文京学院大学）
- ゼミナール（文京学院大学）
- 会計学入門（立教大学）

2014 年度

- 簿記論 I（国際医療福祉大学）
- 簿記論 II（国際医療福祉大学）
- 簿記論 III（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 I（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 II（国際医療福祉大学）
- 会計学（国際医療福祉大学）
- 医療福祉財務会計論（国際医療福祉大学）
- 関連職種連携ワーク（国際医療福祉大学）
- ゼミナール（国際医療福祉大学）
- ゼミナール（文京学院大学）

2015 年度

- 簿記論 I（国際医療福祉大学）
- 簿記論 II（国際医療福祉大学）

- 簿記論 III（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 I（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 II（国際医療福祉大学）
- 医療福祉財務会計論（国際医療福祉大学）
- 病院実習（国際医療福祉大学）
- ゼミナール（国際医療福祉大学）

2016 年度

- 簿記論 I（国際医療福祉大学）
- 簿記論 II（国際医療福祉大学）
- 簿記論 III（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 I（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 II（国際医療福祉大学）
- 病院実習（国際医療福祉大学）
- ゼミナール（国際医療福祉大学）

2017 年度

- 簿記論 I（国際医療福祉大学）
- 簿記論 II（国際医療福祉大学）
- 簿記論 III（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 I（国際医療福祉大学）
- 簿記演習 II（国際医療福祉大学）
- 病院実習（国際医療福祉大学）
- 関連職種連携ワーク（国際医療福祉大学）
- ゼミナール（国際医療福祉大学）

2018 年度

- 電子会計（初級）（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 商業簿記（和光大学）
- 商業簿記・会計学演習（和光大学）
- 工業簿記・原価計算演習（和光大学）
- ゼミナール（和光大学）

2019 年度

- 電子会計（初級）（和光大学）
- 電子会計（中級）（和光大学）
- 会計学（和光大学）

- 商業簿記（和光大学）
- 商業簿記・会計学演習（和光大学）
- 工業簿記・原価計算演習（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）

2020 年度

- 入門簿記（和光大学）
- 基礎簿記（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 商業簿記（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）
- ゼミナール 3（和光大学）
- ゼミナール 4（和光大学）
- 卒業論文（和光大学）

2021 年度

- 入門簿記（和光大学）
- 基礎簿記（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 商業簿記（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）
- ゼミナール 3（和光大学）
- ゼミナール 4（和光大学）
- 卒業論文（和光大学）

2022 年度

- 入門簿記（和光大学）
- 基礎簿記（和光大学）
- 入門簿記演習（和光大学）
- 基礎簿記演習（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 商業簿記（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）
- ゼミナール 3（和光大学）
- ゼミナール 4（和光大学）
- 卒業論文（和光大学）
- 企業評価論（共立女子大学）

2023 年度

- 入門簿記（和光大学）
- 基礎簿記（和光大学）
- 入門簿記演習（和光大学）
- 基礎簿記演習（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 商業簿記（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）
- ゼミナール 3（和光大学）
- ゼミナール 4（和光大学）
- 卒業論文（和光大学）
- 企業評価論（共立女子大学）

2024 年度

- 入門簿記（和光大学）
- 基礎簿記（和光大学）
- 入門簿記演習（和光大学）
- 基礎簿記演習（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 商業簿記（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）
- ゼミナール 3（和光大学）
- ゼミナール 4（和光大学）
- 卒業論文（和光大学）
- 企業評価論（共立女子大学）

2025 年度

- 入門簿記 A（和光大学）
- 入門簿記 B（和光大学）
- 入門簿記演習 A（和光大学）
- 入門簿記演習 B（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 財務会計論（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）
- ゼミナール 3（和光大学）
- ゼミナール 4（和光大学）
- 卒業論文（和光大学）
- 企業評価論（共立女子大学）

2026 年度

- 入門簿記 A（和光大学）
- 入門簿記 B（和光大学）
- 入門簿記演習 A（和光大学）
- 入門簿記演習 B（和光大学）
- 会計学（和光大学）
- 財務会計論（和光大学）
- ゼミナール 1（和光大学）
- ゼミナール 2（和光大学）
- ゼミナール 4（和光大学）
- 卒業論文（和光大学）
- 財務会計 I（共立女子大学）
- 財務会計 II（共立女子大学）

3.2 出張講義等

1. 大田原女子高等学校、出張講義、2015 年 7 月 30 日。
2. 大田原高等学校、課題研究中間報告コメンテーター、2017 年 3 月 2 日。
3. 大田原高等学校、課題研究最終報告コメンテーター、2017 年 5 月 23 日。
4. 宇都宮商業高等学校、酋長講義、2017 年 8 月 4 日。
5. 笛吹高等学校、出張講義、2018 年 7 月 19 日。
6. 東京高等学校、出張講義、2018 年 10 月 10 日。
7. 和光高等学校、出張講義、2018 年 11 月 15 日。
8. 寒川高等学校、出張講義、2019 年 1 月 22 日。
9. 山崎高等学校、出張講義、2017 年 6 月 19 日。
10. 日々輝高等学校、出張講義、2019 年 9 月 2 日。
11. 川崎高等学校・出張講義、2019 年 11 月 20 日。
12. 中央学院大学中央高等学校、出張講義、2019 年 11 月 30 日。
13. 藤沢総合高等学校、課題研究中間報告コメンテーター、2021 年 5 月 11 日。
14. 新羽高等学校、出張講義、2021 年 12 月 1 日。
15. 山梨英和高等学校、オンライン講義、2022 年 6 月 17 日。
16. 八王子拓真高等学校、出張講義、2022 年 12 月 21 日。
17. ミッドリーム日本語学校、出張講義、2023 年 7 月 19 日。
18. 和光大学オープンキャンパス、模擬講義、2023 年 8 月 19 日。
19. 美原高等学校、出張講義、2023 年 10 月 12 日。
20. 大東学園高等学校、模擬講義、2025 年 2 月 4 日。
21. 磯子工業高等学校、系統別説明会、2025 年 3 月 18 日。
22. 和光大学オープンキャンパス、模擬講義、2025 年 8 月 23 日。

23. 横浜桜陽高等学校、出張講義、2025 年 12 月 4 日。
24. ヒューマンキャンパス高等学校、出張講義、2026 年 2 月 27 日。
25. 和光大学オープンキャンパス、模擬講義、2026 年 7 月 7 日。

3.3 その他

1. ISFJ2018 政策フォーラム、医療介護 1 分科会コメンテーター、2018 年 12 月 8 日。
2. ISFJ2024 政策フォーラム、医療分科会コメンテーター、2014 年 11 月 30 日。
3. ISFJ2025 政策フォーラム、医療 2 論文審査員、2025 年 11 月。

以上